

# 災害対策及び社会貢献に関する調査報告書

---

一般社団法人 日本保険薬局協会  
災害対策・社会貢献委員会

2022年7月

- 内容：災害対策や社会貢献への取り組み等に関する現状を調査
- 対象：NPhA正会員
- 方法：WEBアンケート **1社1回答** ※グループで一回答でも可
- 回答期間：2022年6月15日（水）～7月4日（月）
- 回答数：95社、11,183薬局（回答率<sup>\*</sup>：65.1%）
- 実施主体：一般社団法人日本保険薬局協会 災害対策・社会貢献委員会

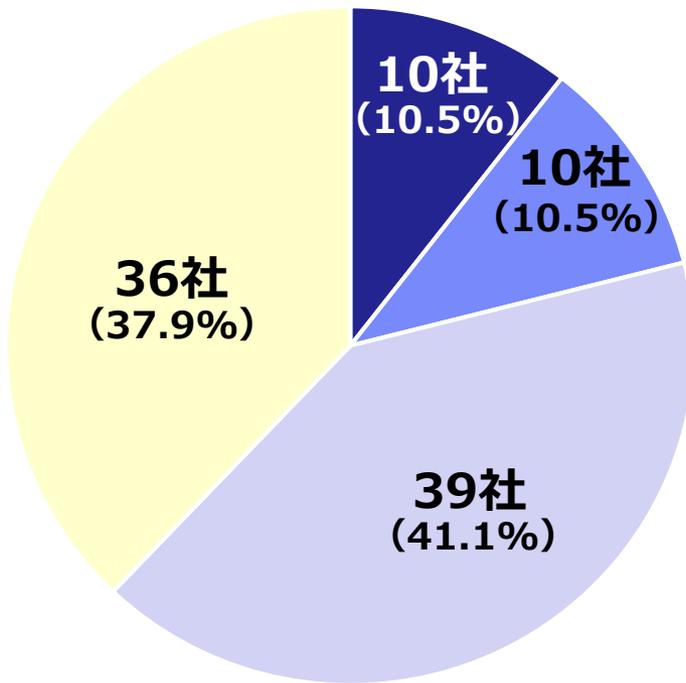
## 調査結果 Summary

災害対策に関しては、BCP策定について、検討中を含めると**77.9%**の企業が策定に関して前向きであり、「自然災害」や「感染症」に限らず幅広いリスクが想定されていた。社会貢献に関しては、**53.6%**の企業がSDGsに取り組んでおり、目標3「すべての人に健康と福祉を」に係る取り組みが多く、中でも、健康サポート薬局と関連する取り組みが多く見られた。一方で、配送回数削減、子どもへの支援、女性活躍等も紹介された。また、新型コロナ関連では、抗原定性検査キットの販売は**80.9%**、コロナ検査やコロナ経口治療薬処方箋への対応は、それぞれ**3割**を超える薬局が対応している結果であった。今回、災害対策や社会貢献に関して、企業ならではの幅広い取組み実態が伺えたことから、協会内で好事例の共有等を通じて、今後も社会インフラとしての機能を高めるよう取組みを行っていく。

▶ \* 回答率分母：17,186薬局（2022年5月19日時点,NPhA会員ページより）

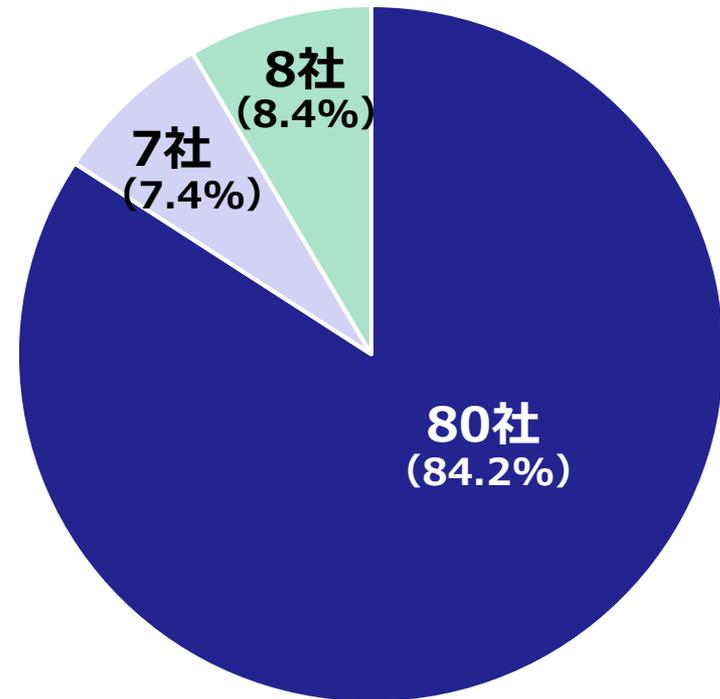
# 回答数の構成

■ 法人（薬局Gr）の総薬局数  
(N=95社)



- 300薬局以上
- 100～299薬局
- 20～99薬局
- 1～19薬局

■ 法人（薬局Gr）の薬局形態  
(N=95社)



- 調剤メインの薬局を主に展開 (総薬局数のうち70%以上が調剤メイン)
- 中間 (30%～70%)
- ドラッグストア等併設型の薬局を主に展開 (70%以上が併設型)

## 1. 災害対策（BCP策定） について

- BCP策定状況と効果等について
- 災害や新興感染症発生時における薬局の体制について
- 災害対策に関する協会活動の認知度について

## 2. 社会貢献（SDGsへの取組み） について

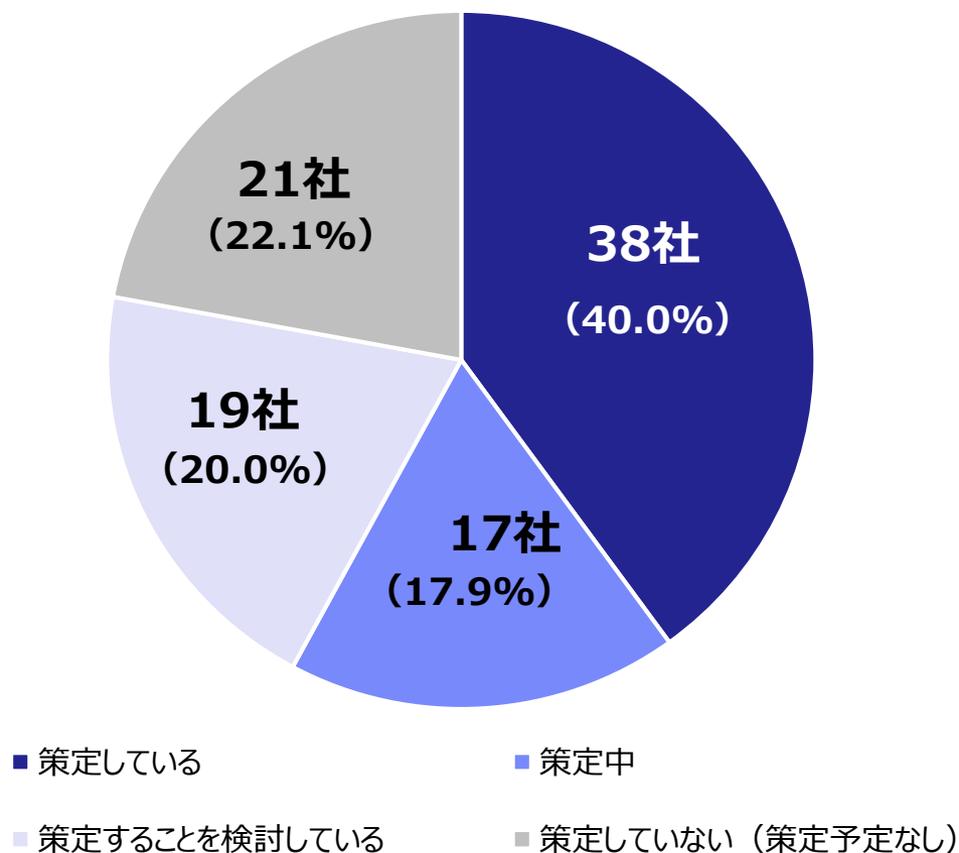
- SDGsに係る活動状況について
- 新型コロナウイルス感染症に係る薬局での取組みについて

# BCP の策定状況

BCP を「策定している」と回答した企業の割合は40.0%であった。「策定中」や「策定することを検討している」を含めると、77.9% の企業が BCPの策定に関して前向きな回答であった。

問. 貴社におけるBCP の策定状況を教えてください。

(N=95社)



## BCP の策定状況 —規模別—

企業規模が大きいほど、BCPを策定している傾向が見られるが、企業規模によらず、策定をしている企業が多い状況であった。

問. 貴社におけるBCP の策定状況を教えてください。 (N=95社)

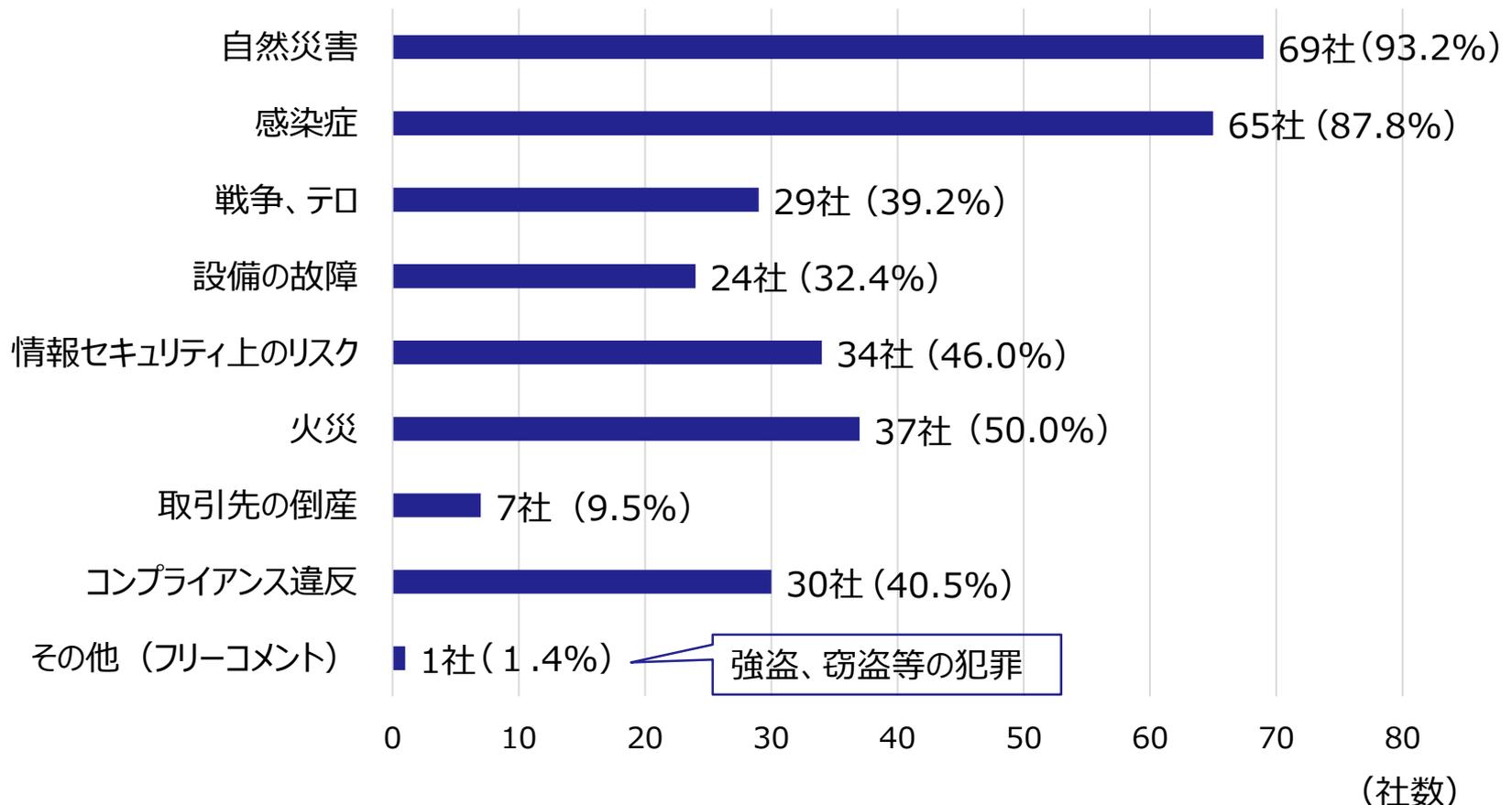
規模分類	1~19薬局 (36社)	20~99薬局 (39社)	100~299薬局 (10社)	300薬局以上 (10社)	全体 (N=95社)
策定している	12社 (33.3%)	14社 (35.9%)	5社 (50.0%)	7社 (70.0%)	38社 (40.0%)
策定中	6社 (16.7%)	9社 (23.1%)	1社 (10.0%)	1社 (10.0%)	17社 (17.9%)
策定することを検討 している	7社 (19.4%)	9社 (23.1%)	1社 (10.0%)	2社 (20.0%)	19社 (20.0%)
策定していない (策定予定なし)	11社 (30.6%)	7社 (18.0%)	3社 (30.0%)	0社 (0.0%)	21社 (22.1%)

# 想定している事業継続リスク

事業の継続が困難になると想定しているリスクとしては、「自然災害」や「感染症」との回答が多かった。また、「火災」「情報セキュリティ上のリスク」「コンプライアンス違反」等、幅広いリスクが想定されていた。

問.BCP 策定にあたり、事業の継続が困難になると想定しているリスクを教えてください。(複数回答可)

(N=74社)

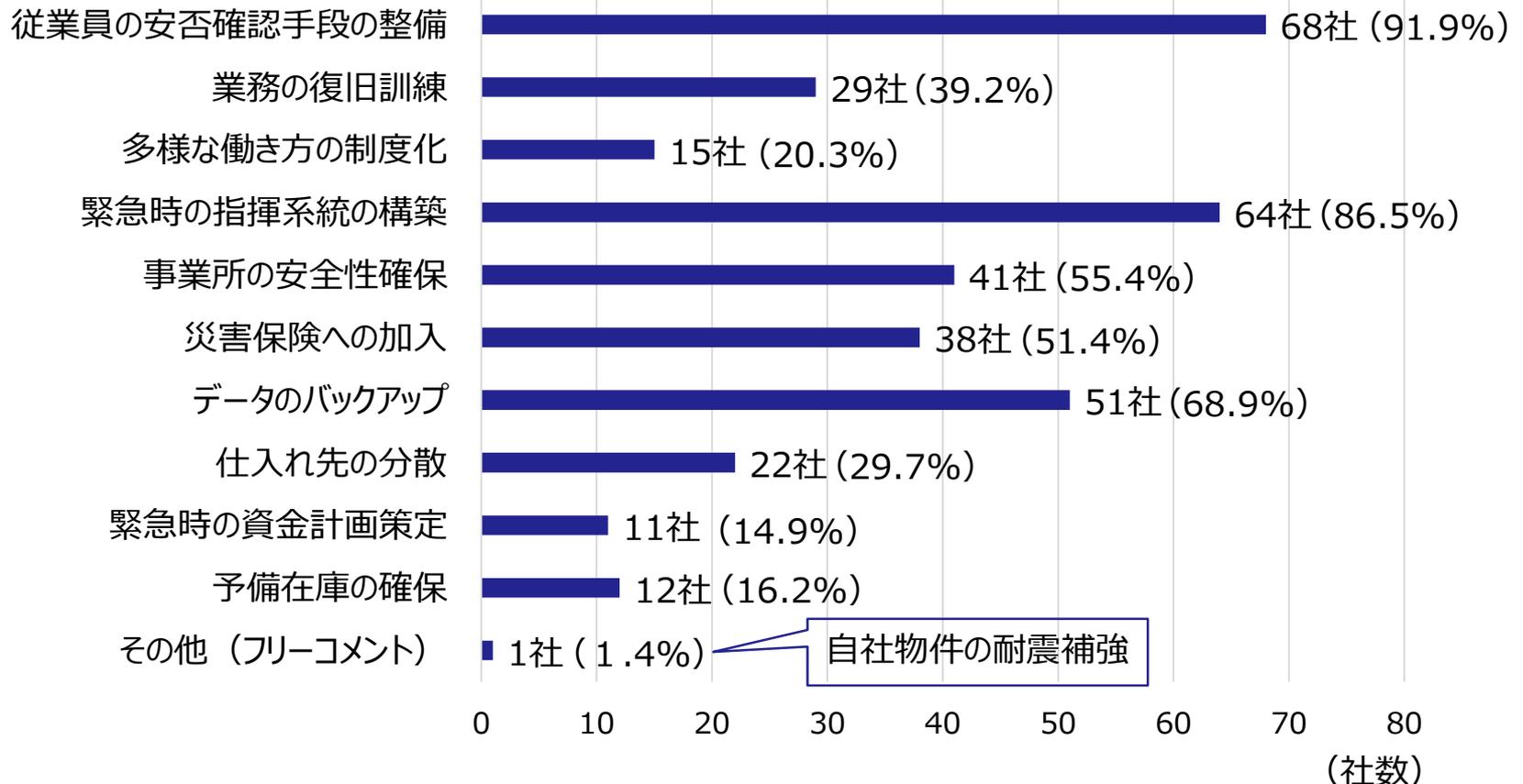


# 想定したリスクに備えた実施・検討内容

想定したリスクに備えた実施・検討内容としては、「従業員の安否確認手段の整備」「緊急時の指揮系統の構築」「データのバックアップ」の順で回答が多かった。

問.想定したリスクに備えた実施・検討内容を教えてください。（複数回答可）

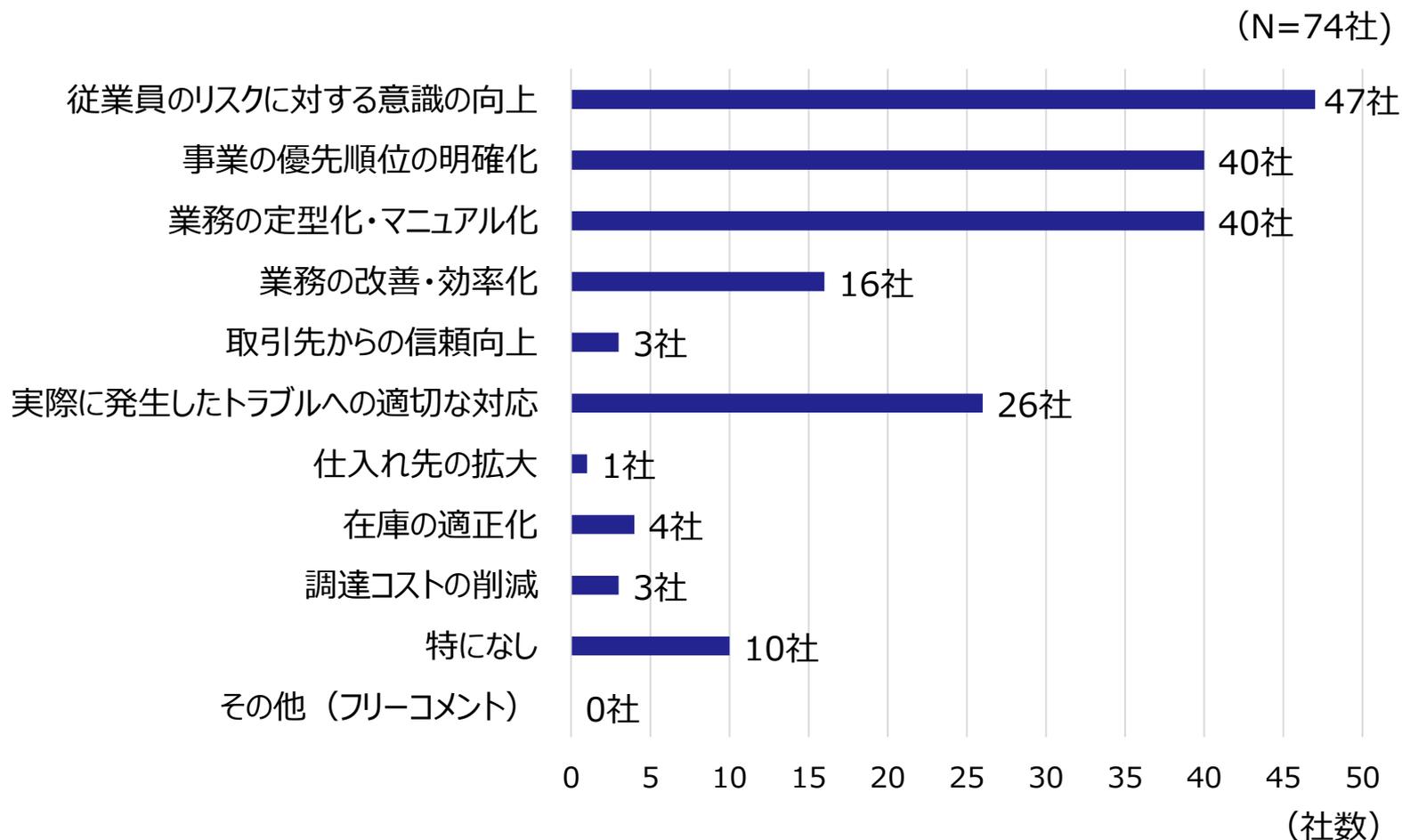
(N=74社)



# BCP の策定によって得られた効果

BCP の策定によって得られた効果としては、「従業員のリスクに対する意識の向上」が最も多く、次いで「事業の優先順位の明確化」や「業務の定型化・マニュアル化」が多い結果となった。

問.BCP の策定によって得られた効果を教えてください。(複数回答可)

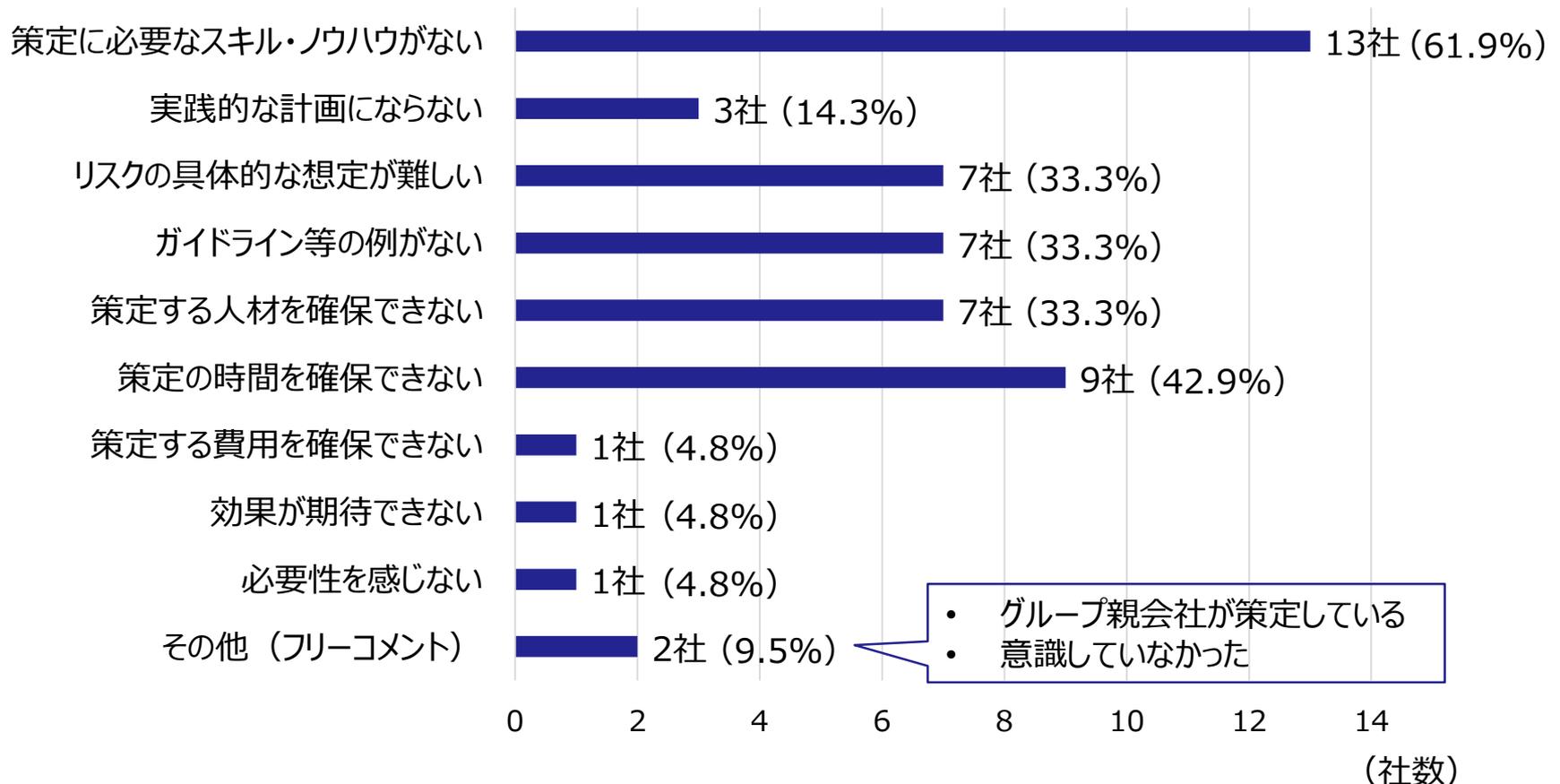


# BCP を策定していない理由

BCP を策定していない理由としては、「策定に必要なスキル・ノウハウがない」が最も多く、協会、委員会の活動として、好事例やノウハウを共有することは有意義だと考えられる。

問. (策定していない会社のみ) BCP を策定していない理由を教えてください。(複数回答可)

(N=21社)

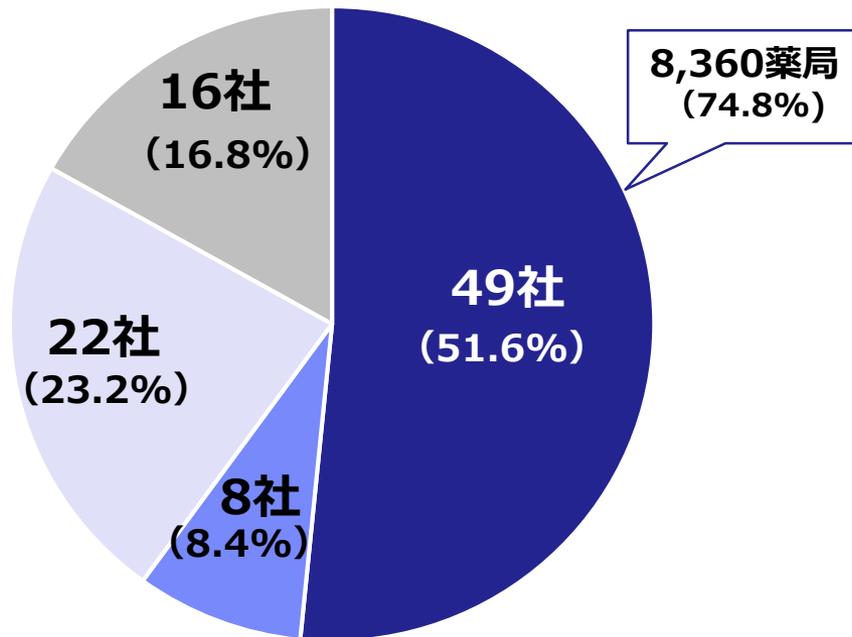


# 災害や新興感染症発生時における薬局の体制

災害や新興感染症発生時における「薬局の体制や対応」についての手順書を全薬局で策定している企業は51.6%（薬局数では74.8%）であった。全薬局で研修を実施している企業は20.0%（同44.2%）であった。

問. 災害や新興感染症発生時における、「薬局の体制や対応」について手順書等を作成していますか？

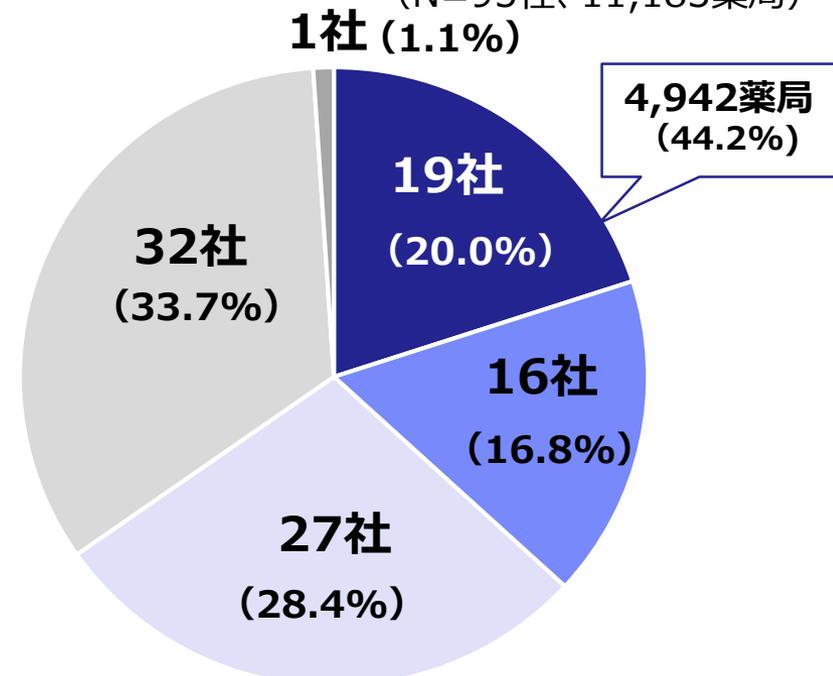
(N=95社、11,183薬局)



- 全薬局において策定している
- 一部薬局において策定している
- 策定を検討中
- 策定できていない

問. 災害や新興感染症発生時における、医薬品の供給や地域の衛生管理に係る対応等を行うことについて、「薬局内」で研修を実施していますか？

(N=95社、11,183薬局)



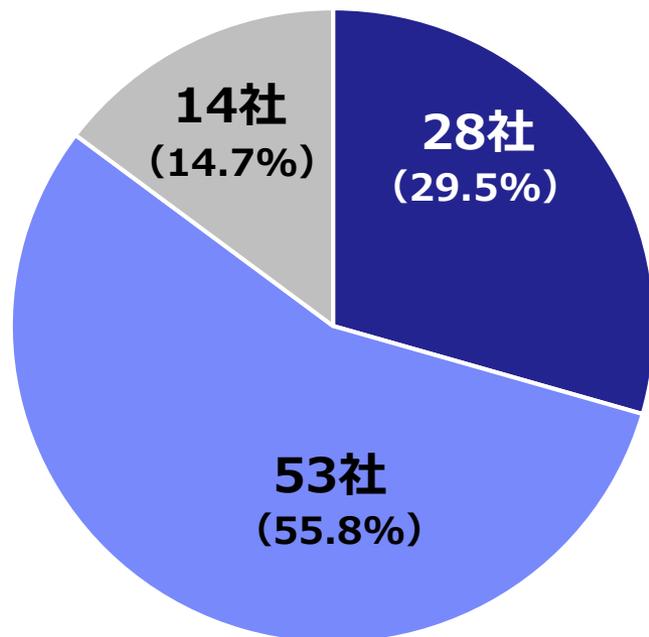
- 全薬局において実施している（予定含む）
- 一部薬局において実施している（予定含む）
- 研修内容を検討中
- 検討できていない
- 必要性を感じない

# 災害対策に関する協会活動の認知度について

「災害対策マニュアル」の認知度は85.3%、「新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画について」の認知度は、81.0%であった。

問. NPhAが策定した、「NPhA災害対策マニュアル（令和3年12月版）」の活用状況を教えてください。

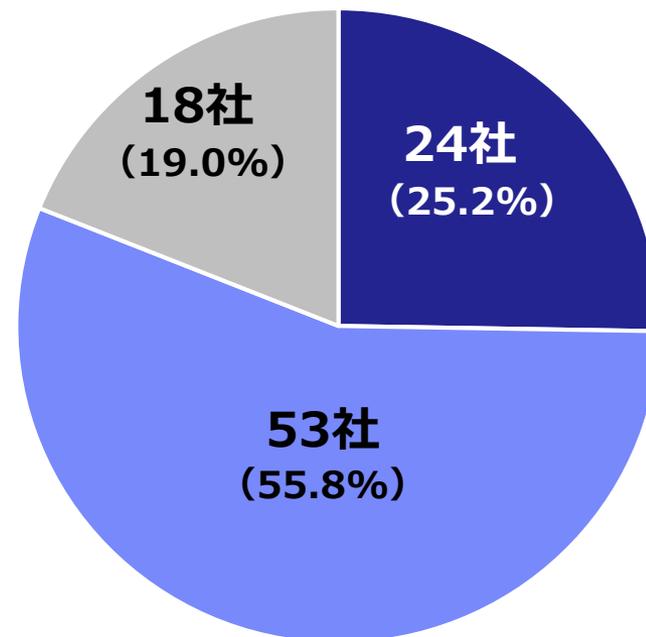
(N=95社)



- 活用している
- 存在は知っているが活用していない
- 存在を知らなかった

問. NPhAが2021年10月に策定した、「新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画について」の活用状況を教えてください。

(N=95社)



- 活用している
- 存在は知っているが活用していない
- 存在を知らなかった

# 災害対策に関する希望、要望等

災害時における手順書や研修ツールを要望する意見や、他社の取り組み状況や好事例を知りたいとの意見が多くみられた。

**問.災害対策に関して協会や委員会に期待することがありましたら教えてください。（任意回答 フリーコメント）**

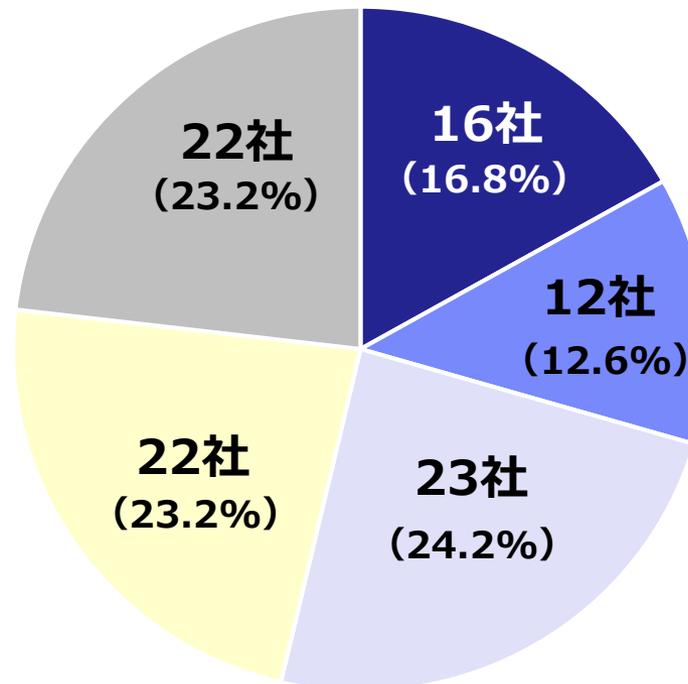
- 災害時における薬局の手順書や、研修ツール
- 研修があると助かる
- 各社で実際に策定している BCP の内容を可能であれば一部共有してほしい
- 他社の取り組み状況などの共有
- 過去の災害時の好事例、対応事例
- 災害対策がどれくらいできているのかのチェックリスト（自己点検表）
- 停電時の速やかな業務再開の整備として必要なものの情報
- 自治体との橋渡しとなるような人材の育成（災害薬事コーディネーター等）
- 作りっぱなしで終わってしまうことが多い
- 活用・定着にどのような取り組みをしているのか知りたい
- NPhAが作成している業務継続計画や災害時マニュアルがあることを初めて知ったので、そのツールを活用したい

# SDGs に係る活動状況

SDGs に係る取り組みを実施している企業は53.6%であった。

問. SDGs に係る活動状況について教えてください。

(N=95社)



- 目標設定あり、進捗管理あり
- 目標設定なし、取組みはあり
- 予定なし

- 目標設定あり、進捗管理なし
- 目標設定なし、取組み検討中

## SDGs に係る活動状況 ー規模別ー

企業規模が比較的大きいほど、SDGsに係る活動について、目標設定や進捗管理を行っている傾向であった。

問. SDGs に係る活動状況について教えてください。 (N=95社)

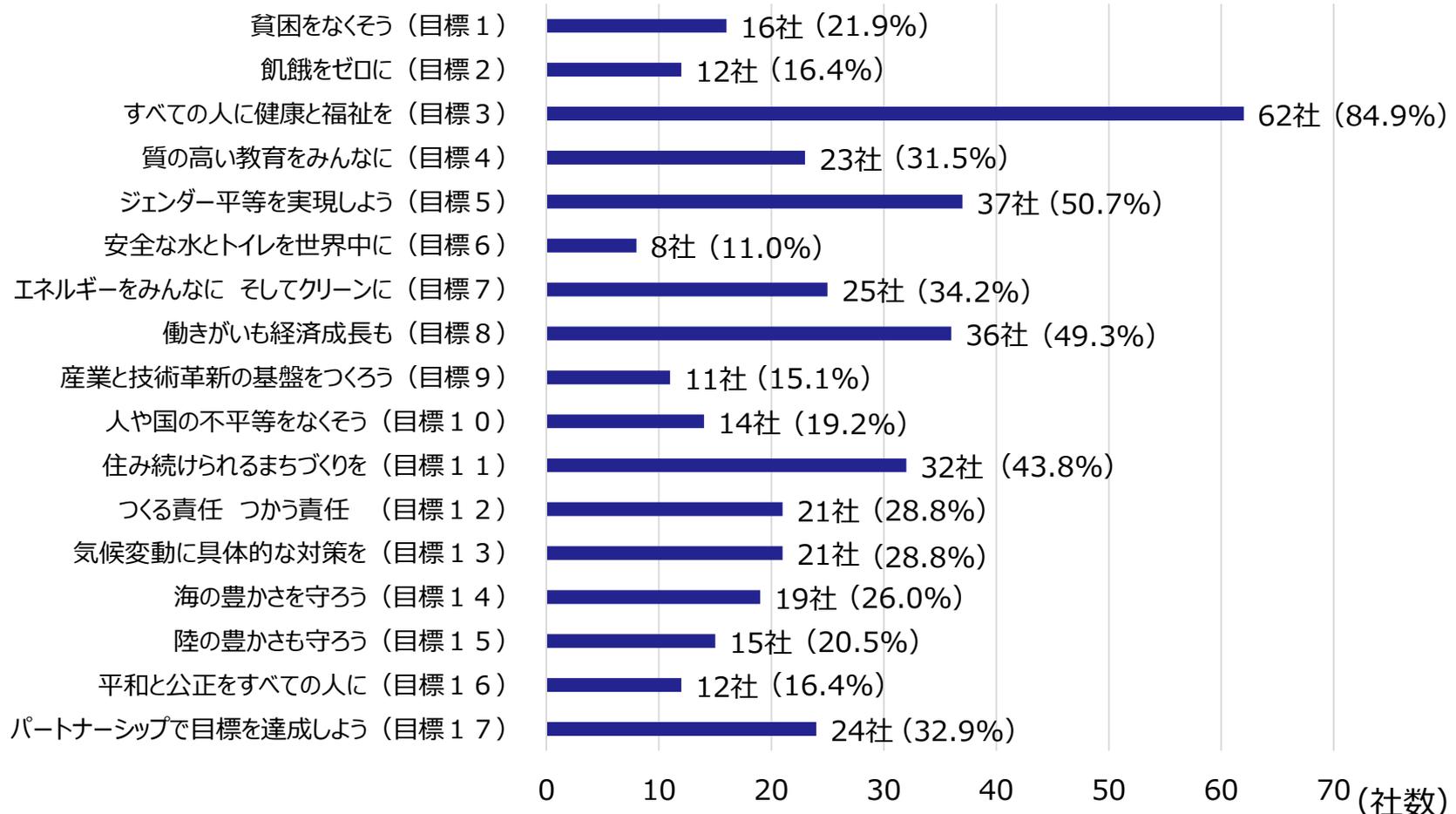
規模分類	1~19薬局 (36社)	20~99薬局 (39社)	100~299薬局 (10社)	300薬局以上 (10社)	全体 (N=95社)
目標設定あり、 進捗管理あり	1社 (2.8%)	4社 (10.3%)	5社 (50.0%)	6社 (60.0%)	16社 (16.8%)
目標設定あり、 進捗管理なし	4社 (11.1%)	6社 (15.4%)	2社 (20.0%)	0社 (0.0%)	12社 (12.6%)
目標設定なし、 取り組みはあり	8社 (22.2%)	10社 (25.6%)	2社 (20.0%)	3社 (30.0%)	23社 (24.2%)
目標設定なし、 取り組み検討中	11社 (30.6%)	9社 (23.1%)	1社 (10.0%)	1社 (10.0%)	22社 (23.2%)
予定なし	12社 (33.3%)	10社 (25.6%)	0社 (0.0%)	0社 (0.0%)	22社 (23.2%)

# 取り組みを行っている項目

SDGs の17の目標の中で、最も取り組まれている項目は目標3「すべての人に健康と福祉を」であり、それ以外にも事業活動を通して、幅広い項目のSDGsに取り組んでいる状況が伺えた。

問. SDGs の17の目標の中で、取り組みを行っている（検討中含む）項目を教えてください。（複数回答可）

(N=73社)

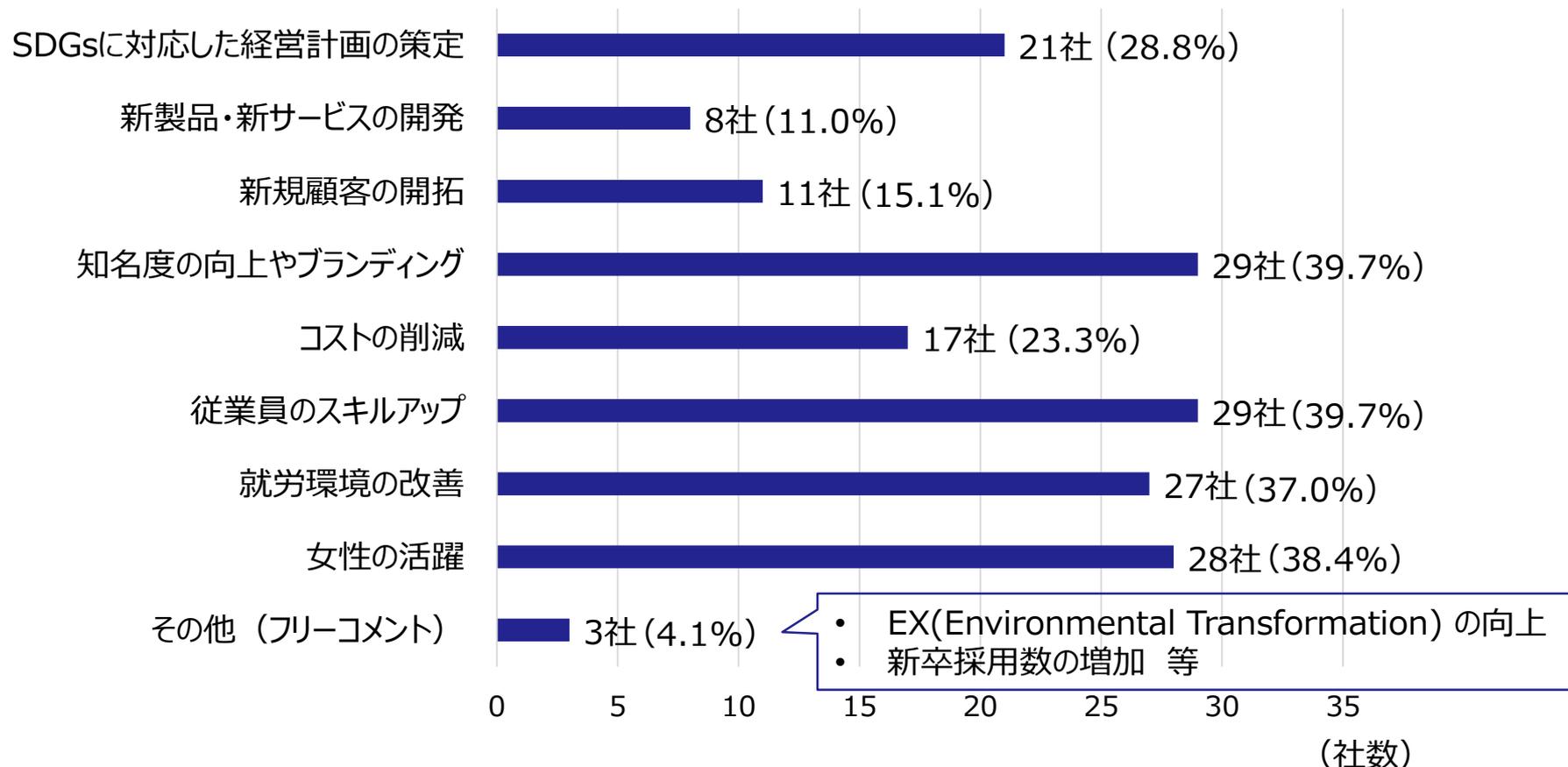


# 取り組みによる効果

SDGsに関する取り組みの効果として、「知名度の向上やブランディング」や「従業員のスキルアップ」「女性の活躍」「就労環境の改善」の回答が多かった。

問.SDGs に関する取り組みによって、得られた効果、期待される効果を教えてください。(複数回答可)

(N=73社)



# 取り組み事例

目標3「すべての人に健康と福祉を」に係る取り組みが多く、中でも、かかりつけや在宅、健康サポート、コロナ対応関連等、薬局業務と関連する取り組みが多く見られた。それ以外にも、配送回数削減、こどもへの支援、女性活躍等の取り組み事例があげられた。

## 問.SDGs に関する具体的な取り組みを教えてください。(任意回答 フリーコメント)

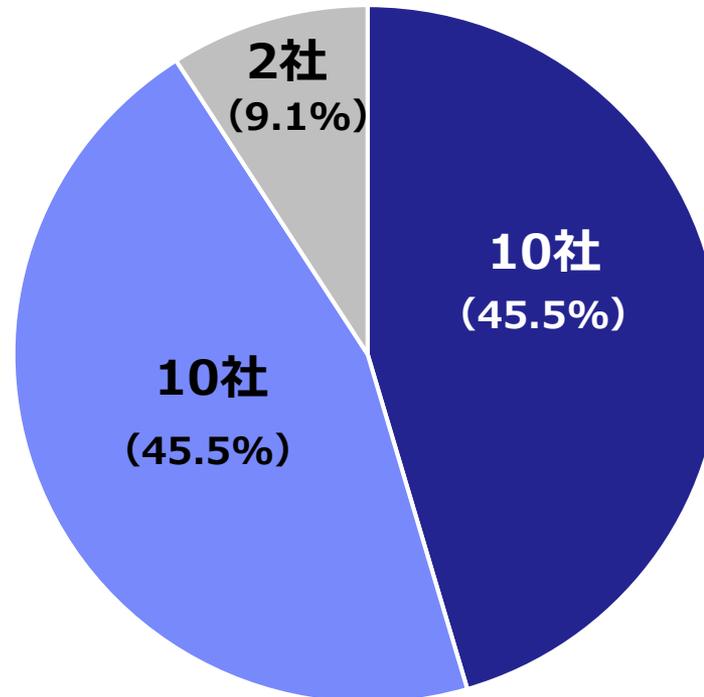
- かかりつけ、在宅医療、健康サポート、医療費抑制、災害時対応（医療継続）、地域への健康教育（目標3,11）
- 現在行っている災害対策、コロナ対策、抗原抗体検査などを進めていく中で、健康フェアで地域住民に健康について啓蒙（目標3）
- 心電図による「受診勧奨モデル」を活用し、薬局に設置した心電計付き血圧計を用いて、地域のご希望の方に測定を行い、連動する専用アプリによる解析結果および薬剤師によるチェックシートから心房細動のリスクを確認。かかりつけ医をはじめとした 専門医療機関への受診勧奨、トレーシングレポートを実施（目標3,17）
- 「地域社会との調和と共生を目指し、健康活動等を通じた社会貢献を推進する」ことを重要課題（マテリアリティ）とし、自治体と地域包括ケアシステムおよび地域共生社会の推進にかかる連携協定を締結（目標3,9,11,17）
- 子ども薬剤師体験の開催（目標3）
- 医薬品卸と協働し、配送回数を削減することで、環境負荷を軽減（目標3,8,12,13,17）
- 医薬品のパッケージ納品、環境にやさしいPB包材の積極採用（目標3,8,12）
- LED化の促進、サステナブルな新電力会社の導入（目標3,8,12）
- こども食堂の支援、NPOへの寄付（目標1,2,3）
- ビニール袋（バイオマス）を有料化した際に得られたビニール袋代を自然環境保護団体に募金（目標12,14,15）
- 薬学生向けの奨学金制度（目標1,4）
- 経済的に困難なこどもを対象とした塾の開催（目標4）
- えるばし認定の取得（目標5）

▶ 文末の（ ）内には、対応するSDGs No. を記載。回答に記載がなかった場合は該当すると思われるものを記載

# 活動予定がない企業の取り組み意欲

現状で活動予定がない企業のうち、45.5%は意義を理解し取り組む意思があった。

問. (活動予定なしの場合) 今後のSDGs への取り組み意欲について教えてください。  
(N=22社)



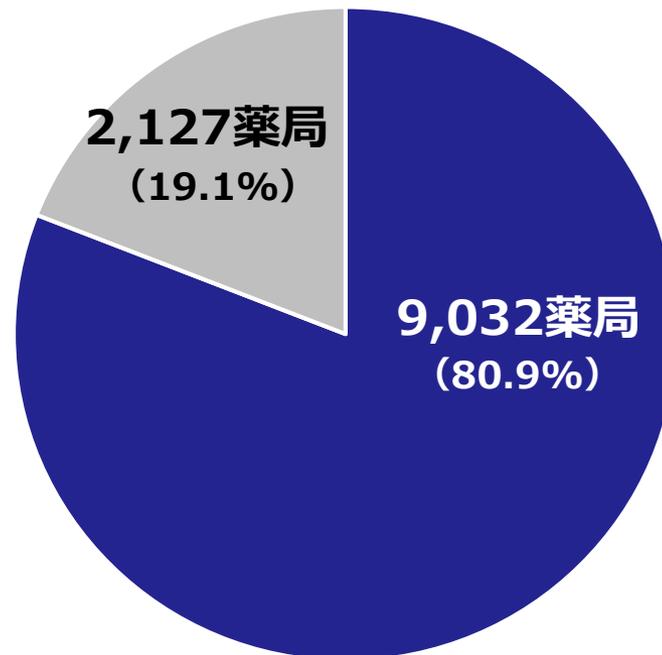
- 意義は理解しており、取り組みたいと思っている
- 意義は理解しているが、取り組みは考えていない
- 意義を理解できていない

# 抗原定性検査キットの販売について

回答企業94社において、9,032薬局（80.9%）で抗原定性検査キットの販売が行われている。

問. 新型コロナウイルス感染症の抗原定性検査キットを販売している薬局数を教えてください。

(N=94社、11,159薬局)



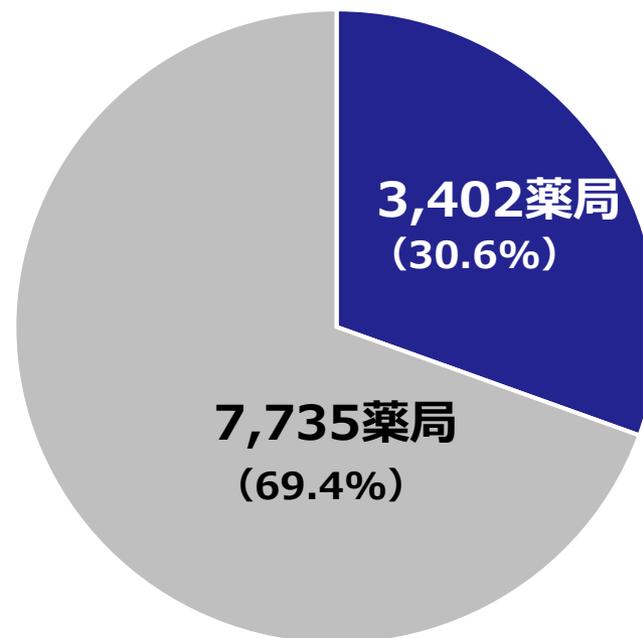
■ 販売している ■ 販売していない

# コロナ検査について

回答企業94社において、3,402薬局 (30.6%) で、新型コロナウイルス感染症検査 (PCRもしくは抗原検査) が実施されている。

問. 新型コロナウイルス感染症検査 (PCR or 抗原検査) の実施薬局数を教えてください。

(N=94社、11,137薬局)



■ 実施している

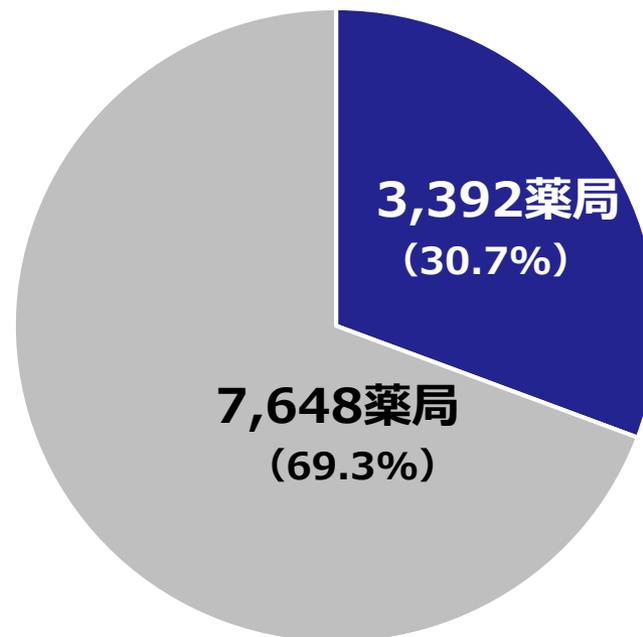
■ 実施していない

# コロナ経口治療薬への対応

回答企業93社において、3,392薬局（30.7%）で、コロナ経口治療薬の処方箋に対応可能との結果となった。

問. コロナ経口治療薬の処方箋への対応可能薬局数を教えてください。  
(ラゲブリオもしくはパキロビッドパックに対応できる薬局数)

(N=93社、11,040薬局)



■ 対応できる

■ 対応できない

# 社会貢献活動に関する希望、要望等

取り組みやすい事例や好事例の共有を求める意見が多く見られた。また、協会全体での取り組みを期待する声も複数見られた。

**問.SDGs への取り組み等、社会貢献活動に関して協会や委員会に期待すること等を教えてください。**

(任意回答 フリーコメント)

- 取り組みやすい事例を教えてください
- 他社の取り組み事例を教えてください
- 薬局としてどうすべきかの指針がほしい、どのような取り組みが地域の方に喜ばれるか知りたい
- 社会貢献活動をしている会社のきっかけを教えてください
- 取り組むことでES (Employee Satisfaction) がどのように向上するのか知りたい
- 取り組みが処方や売上に貢献した例を教えてください
- 薬局・薬店の活用を広く知っていただく発信をしてもらいたい
- 自社のみではできない資源の有効活用や人材交流
- 協会全体での取り組みもあればいい
- 製薬メーカーは大手が共同でCO2排出ガス削減に向けた共通システムの導入をしたりしているので、卸の配送回数削減、デッドストック解消、電子お薬手帳の情報共有の促進など薬局事業全体で取り組める内容を主導してもらいたい
- 全国広域にかかる会員企業のリソースを法人の垣根を越えて横断的に活用し、医療資源の乏しい過疎地・僻地・離島等地域への支援活動を行うことなど検討可能かと考える



Nippon Pharmacy Association

日本保険薬局協会